



平成27年7月8日

各 位

会 社 名 ダブル・スコープ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 崔 元 根
 (コード番号 6619 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役 CFO 兼経営企画本部長
 竹 居 邦 彦
 (TEL 03 - 5436 - 7155)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月12日付で公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成27年12月第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,626	153	163	139	9. 86
今回修正予想(B)	3,100	580	710	640	45. 16
増減額(B-A)	474	427	547	501	
増減率(%)	18.1	279.1	335.6	360.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期第2四半期)	1,986	86	72	140	9. 93

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,072	660	791	726	51. 23
今回修正予想(B)	7,300	1,300	1,500	1,400	98. 79
増減額(B-A)	1,228	640	709	674	
増減率(%)	20.2	97.0	89.6	92.8	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	4,522	332	695	528	37. 30

修正の理由

当社の属するリチウムイオンバッテリー業界のマクロ環境はEV等車載用途の需要拡大を背景に、リチウムイオン二次電池用セパレータの市況においても上昇局面が続いております。このような環境下、主要顧客からの受注が順調に推移、また販売単価が期初想定を上回る結果となりました。

平均為替レートにつきましては、当第2四半期連続累計期間の対1米ドル120.2円となり、通期平均為替レート対米1ドル110.0円に対し約10.2円の円安となりました。また当第2四半期連続累計期間の対1,000韓国ウォン109.4円となり、通期平均為替レート対1,000韓国ウォン110.0円に対し約0.6円の円高となりました。

(下期の見通し)

当社グループの主力事業であるリチウムイオン二次電池用セパレータ事業における経営環境に大きな変化はなく、安定的に推移をすると想定しております。期初設定した通期平均為替レート対米1ドルは115.0円に変更し、対1,000韓国ウォン110.0円は変更ございません。

以上の要因となったため、平成27年2月12日付の公表数値を修正致します。

【業績予想に関する留意事項】

業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上